



平成28年3月10日

九州地方整備局

九州運輸局

## 九州管内における外航クルーズの動向について（2015年速報値）

九州管内における2015年の外航クルーズ船寄港回数については、これまで過去最高であった2014年（245回）を大幅に上回る505回（前年比2.1倍）となりました。

九州運輸局及び九州地方整備局においては、2015年における九州管内の外航クルーズ船寄港の動向を把握するため、港湾管理者等への調査を実施した結果、九州管内における2015年の外航クルーズ船<sup>（注）</sup>寄港回数は、これまで過去最高であった2014年の245回を大幅に上回る505回（前年比2.1倍）となったことが判りました。

また、外航クルーズ船による九州管内の寄港地での「船舶観光上陸者数」<sup>（注）</sup>については788,927人となりました。（2014年の「寄港地上陸者数」<sup>（注）</sup>は198,008人です。）

今後の九州への外航クルーズ船の寄港については、2016年も更に好調に推移していくものと期待されます。

## 【問い合わせ先】

## 1. 「外航クルーズ船寄港実績」について

国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部

港湾物流企画室 課長補佐

名里 健吾（なざと けんご）

TEL：092-418-3379

FAX：092-418-3037

## 2. 「外航クルーズ船寄港地上陸者数」について

国土交通省 九州運輸局 海事振興部

調整官

天野 典彰（あまの のりあき）

港運課

課長補佐

増田

宏章（ましだ ひろあき）

TEL：092-472-3157

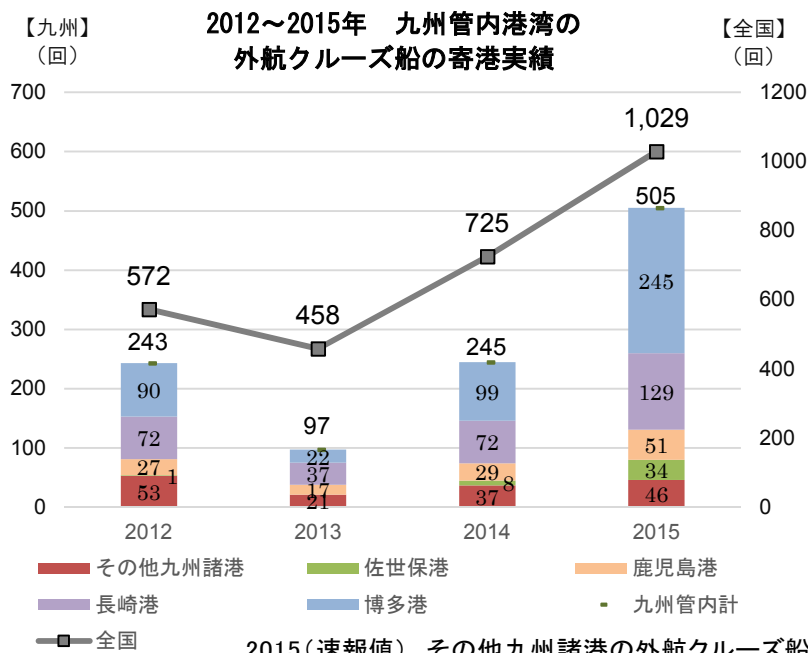
FAX：092-472-3301

（注）詳細は、別紙脚注参照。なお、「船舶観光上陸者数」と「寄港地上陸者数」は、制度が異なるため単純な比較はできない。

### 1. 九州管内への外航クルーズ船寄港の動向について：

九州管内における外航クルーズ船<sup>1</sup>の寄港は、大手クルーズ船社や中国資本クルーズ船社が中国発着のアジア配船を増やしたことから、過去最高となる505回となり、全国の約5割を占める結果となりました。

また、全国トップ10に九州管内の港湾が4港入り、1位博多、2位長崎、7位鹿児島、8位佐世保と、地理的にアジアに近い九州管内の港湾が上位を占めており、中国をはじめアジアクルーズ市場の急成長により、今後の伸びに期待が寄せられるところです。



順位	港湾名	寄港回数
1	博多	245
2	長崎	129
3	那覇	108
4	石垣	84
5	横浜	56
6	神戸	52
7	鹿児島	51
8	佐世保	34
9	広島	25
10	大阪	18
10	境	18

2015(速報値) その他九州諸港の外航クルーズ船寄港回数

港名	寄港回数	港名	寄港回数	港名	寄港回数	港名	寄港回数	港名	寄港回数
八代	12	油津	6	下関	5	名瀬	3	佐伯	1
別府	8	宮之浦	6	北九州	3	巖原	1	細島	1

### 2. 九州管内への外航クルーズ船による船舶観光上陸者数の動向について：

2015年の船舶観光上陸者数<sup>2</sup>は、788,927人となっています。2014年の寄港地上陸者数<sup>3</sup>の198,008人を大きく超えた要因としては、寄港実績の増加及び新たな船舶観光上陸許可（航路の限定緩和による対象船舶拡大等）の新設によるものと思われます。

許可の種類	年	博多	長崎	鹿児島	佐世保	八代	下関	合計
寄港地上陸	2013年	16,686	13,989	10,615	-	-	-	41,290
	2014年	123,206	59,596	13,135	-	2,071	-	198,008
船舶観光上陸	2015年	501,955	207,273	37,341	19,876	20,822	1,660	788,927

<sup>1</sup> 外国籍船及び日本籍船であって、乗船地、下船地及び寄港地のいずれかに海外が含まれるもの。  
<sup>2</sup> 「出入国管理及び難民認定法」第14条の2（船舶観光上陸の許可）による上陸者数である。（一般上陸許可による上陸者は含めない。外国から最初に入港する国内の港（ファーストポート）での上陸者のみ計上する。）※2015年1月1日施行。  
<sup>3</sup> 「出入国管理及び難民認定法」第14条（寄港地上陸の許可）による上陸者数である。（同上）